

安達太良山山行報告

【山行日】2020年 2月 24(日) 曇り後小雪

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 3,600円

【メンバー】CL:鈴木、SL:大西

石澤、齊藤、鶴見、福島、吉田

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00＝

安達太良高原スキー場 P8:00/8:20～勢至平

9:50/10:00～くろがね小屋 10:50/11:40～

勢至平 12:10/12:30～安達太良高原スキー場

P13:10/13:40＝栃木市運動公園 P16:10

雪山トレーニング山行として、天気良けれ

ば初心者でもチャレンジが出来る安達太良山を計画した。数年前から安達太良エクスプレスのゴンドラが冬季運休になり、勢至平から山頂を目指す反時計回りのコースを登ることにする。

東北自動車道の二本松 IC で降りて、岳温泉から安達太良高原スキー場に向かうが、雪が少なく



道路にも雪はほとんど無かった。スキー場の駐車場に車を止め、出発の準備が出来たらトイレを済ませ出発する。スキー場を左に見て、無雪期は車道となる広い雪道を歩いて行く。五葉松平経由で安達太良山へ向かうコースを左に分け、勢至平へは右に大きくカーブして行く。少し下って烏川を渡った先でアイゼンを付け、ストレッチを行ってから標識に従って左の山道に入る。トレースはしっかりつけられていて、とても歩き易い。天気は曇り空で風は弱い、山頂方面は黒い雲が垂れ込め今に

も降り出しそう。それでも皆さんは元気で、会話を楽しみながら急坂を登って行く。くろがね小屋に

泊ったグループが何組も下って来て、山頂の情報を聞くが天気は良くないようだ。

急な登りを登り切ると緩やかな登りとなり、勢至平の気持が良い雪の原を歩いて行く。

晴れていれば左手に安達太良山が見えるが、今日は黒い雲の中で視界は得られない。

峰ノ辻への分岐で休憩し、ここから左に峰ノ辻に向かう予定だが、小雪がちらつき視界も悪いのでくろがね小屋へ向かうことにした。この先コースは湯川源頭部をトラバースして行くが、右側が切れ落ちた片斜面を慎重に進



む。

山腹をぐるりと回り込むと目の前にくろがね小屋が現れ、少し下って小沢を渡り登り返すと小屋に着く。小屋の脇でアイゼンを外し、入口で雪を払ってから中に入る。一人300円を払って休憩させ



てもらい、テーブルを借りて昼食を食べることにする。帽子や上衣が雪で濡れているので、窓際に掛けて乾かす。窓の外を見ると風雪が強くなり、小屋に直接向かって正解だったと思った。お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープとおにぎりをいただき、お茶を飲んでどら焼きをいただく。今日はストーブが点いておらず、「300円の休憩料を取るのにおかしいよね」と不満顔。確か一昨年は200円でストーブがガンガン燃えていて、ストーブの上のヤカンのお湯も無料で使えたと思った。それ

からすると今年のスタッフは、何もしないでサービスが悪すぎる。トイレを借りる人は靴を脱いで済ませ、出発の準備をしたら外に出てアイゼンを付ける。風雪が強く空模様も暗いので、峰ノ辻へは諦めて往路を戻ることにした。湯川源頭部のトラバース道は慎重に歩き、平坦な道に出ると安心する。勢至平分岐に着き、計画ではここからスノーシューで勢至平を横断する予定だったので、希望者はスノーシューを付けて少し歩いてみる。スノーシューの感覚を味わったら下山し、往路をスキー場まで下る。今シーズンの雪山は全て天気に恵まれ、絶景を楽しみながら登れたが、今回のような荒天も良い経験になると思う。皆さんも雪山を歩くことが出来、それだけでも満足そうに歩いていたので良しとする。スキー場に着いたらトイレに寄り、車に戻って靴を履き替えたら帰路につく。

車で二本松市街まで下りると晴れていたが、帰りの高速道からも安達太良山頂は見られなかった。

途中、大谷 PA に寄りトイレと買い物し、予定よりも早く栃木市運動公園へ帰着した。